

30周年記念号

上田市スポーツ少年団 創設30周年記念



第29回 上田市スポーツ少年団交流会 (H28.11.3開催)
上田城跡公園陸上競技場にて約600人の人文字

写真提供：株式会社みすず総合コンサルタント

スポーツ少年団の歌「みどりの朝風」

- 一、みどりみどりの朝風に
希望の団旗がなつている
われらはスポーツ少年団
におう健康あこがれ高く
若い力をさあたえよう
若い心をさあたえよう
- 二、さやかさやかな青空に
平和の鳩が舞っている
われらはスポーツ少年団
水に大地に意気はつらつと
若い力をさあたえよう
若い心をさあたえよう
- 三、元気元気な歌声で
世界の友が呼んでいる
われらはスポーツ少年団
燃えるファイトに花咲く技に
若い力をさあたえよう
若い心をさあたえよう

日本スポーツ少年団団員綱領

- 一、わたくしたちは、スポーツをとおして健康なからだを養います。
- 一、わたくしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけない、りっぱな人間になります。
- 一、わたくしたちは、スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします。
- 一、わたくしたちは、スポーツのよるこびを学び、友情と協力を大切にします。
- 一、わたくしたちは、スポーツをとおして世界中の友たちと力をあわせ、平和な世界をつくりまします。

創設三十周年にあたり



上田市スポーツ少年団

本部長 佐野 正樹

「上田市スポーツ少年団」創設三十周年記念号「みどりの朝風」発刊に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

東京オリンピック開催二年前の昭和三十七年(財)日本体育協会創立五十周年事業として「日本スポーツ少年団」が創設され、「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に賛同し、昭和六十一年「上田市スポーツ少年団」が発足いたしました。

今日、当少年団が創設三十周年を迎える事が出来ましたのも、永い歳月に渡りご尽力を賜りました関係各位皆々様のお陰と、心から敬意と感謝を申し上げます。

三十周年を迎えた現在、平成二十四年の上田市・丸子・真田町各体育協会の統合、平成二十七年の武石スポーツ協会との統合により四十五団体、団員数千九百三十名、指導者数五百

七十名の県下最大の少年団として躍進しております。又、スポーツ活動を通じて健全な社会性を養い、強健な身体と健全な精神の涵養に寄与する事を理念とした、スポーツ少年団として一歩ずつ前進しております。子供たちは地域の・日本の・世界の、未来の宝であり原石です。その原石を健全に磨く為には、家庭の協力・地域社会の協力・学校の協力・行政による物心両面の積極的支援が不可欠であり、その一端をスポーツ少年団が担っている事を念頭に活動しております。

少年団活動の中で成長し、スポーツマンシップ・フェアプレー・諦めない気持を学び、全ての行動に自信と、感謝の気持ちを常に持ち成長する事を願う次第です。

スポーツ少年団活動が展開できますのも、少なからず時間を犠牲に、ボランティアで指導いただいている先生方と、母集団の皆様の協力の賜と心より感謝申し上げます。

三十周年記念誌が上田市スポーツ少年団の益々の飛躍と発展に寄与できまことをお祈り申し上げます、発行のご挨拶といたします。

創設三十周年を迎えて



一般財団法人 上田市体育協会

会長 森 大和

上田市スポーツ少年団は、スポーツ活動を通じて子ども達の健全育成を図るために活動を続け、今年で創設三十周年を迎えました。

今日まで、青少年の健全な育成のため、ボランティア精神を持って献身的にご尽力いただいております役員・指導者の皆様に対し、敬意と感謝を表するものであります。またこの間、上田市・上田市教育委員会には格別のご支援をいただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

上田市スポーツ少年団は昭和六十一年(一九八六年)に結成され、「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に」という発足以来の理念は変わる事なく、現在、丸子地域・真田地域を含め四十五団体、指導者五七〇名、団員一、九三〇名で県下最大の

少年団となっております。団員達が日々生き生きと活動している姿は、誠に頼もしい限りです。

さて、今年開催されたブラジル・リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、長野県初となる夏季オリンピックメダリストが三名誕生しました。

二〇二〇年に開催される東京オリンピックを契機に、スポーツのもつ素晴らしさを子ども達が体感しスポーツをする子どもが増えること、また上田市スポーツ少年団出身の選手が、この夢の舞台へ立てることを願っております。

指導者・保護者の皆さまにおかれましては、日頃、スポーツをする子ども達をお支えいただいているところですが、子ども達が大きな夢や希望を抱き、強い意志を持って未来に歩みを進められるよう、今後ともより一層のご理解とご協力を賜り、スポーツ少年団活動を通じて、地域に密着したスポーツクラブとして青少年を育てていただきますよう、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。終わりに、上田市スポーツ少年団の発展を支えてくださる関係各位皆様の、ますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げます、挨拶といたします。

お祝いの言葉



上田市教育長 小林 一雄

上田市スポーツ少年団が創立三十周年を迎えられますことに、心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

昭和六十一年の創立以来、年々その規模を拡大し、現在では、四十五団、二十五種目に指導者を含めまして二千五百名余の皆様が登録されるなど県内最大規模の組織であり、ここ三十年間の上田市の少年スポーツの発展に果たしてきた役割は多大であると考えております。また、子どもたちに、勝利至上主義ではないスポーツ本来の楽しさを伝え、生きる力を育むという、創立に際しての目的を着実に果たされているとともに、上田市のスポーツ振興計画に掲げる「生涯スポーツ社会」の実現に向け、その基礎となる大変重要な活動であると考えております。

スポーツ少年団の子どもたちには、ともに厳しい練習に耐えた経験と努

力、そして一緒に汗を流した仲間との絆があります。活動を通して得られたこれらの心の財産は、必ず子どもたちの未来を明るく輝かせるものと思います。

終わりに、上田市スポーツ少年団事業の推進に携わってこられた役員の皆様、指導運営にあたってこられた単位団指導者の皆様、そして保護者の皆様の御尽力に深く感謝と敬意を表するとともに、上田市スポーツ少年団の今後ますますの御発展を御祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

歴代本部長

初代本部長

昭和61年度～平成4年度

若林 正五



2代目 本部長

平成5年度～平成13年度

岩 草 満



3代目 本部長

平成14年度～平成18年度

赤羽 福次郎



4代目 本部長

平成19年度～平成26年度

涼 勉



上田市軟式野球 スポーツ少年団

子息の加入をお待ちしております。

神川小学校 6年

中山 太智

昭和57年 発足
昭和59年 スポ少登録

僕たち上田市軟式野球スポーツ少年団は「礼+

代表者 宮下 省二

団のモットーである勝利の方程式、礼+努力+団結の結果を求めて34年間活動を行ってきました。最近、団員数は減少傾向にあります。スポーツ少年団で培ってきたことを開化させ、大きく羽ばたいて欲しいと願っています。卒団生は、社会人、プロ野球で頑張っている人もいますが、多くは仲間づくりと健康づくりのために野球を楽しんでいます。今後、人口減少時代のなかで誰にでも挨拶が出来、力を合わせて目標を達成してきた貴重な体験が、社会人になってから必ず生きてくるものと確信しています。明るく、楽しく、元気なスポーツ少年団団員が、明日の日本を支えます。野球を通して人づくり。大切なこ

子息の加入をお待ちしております。



上田市卓球 スポーツ少年団

学ばせています。今後もコーチ一同頑張りたいと思っております。

上田第六中学校 3年

昭和63年 発足
昭和63年 スポ少登録

僕はスポーツ少年団に入団して5年になります。この5年間の卓球生活で学んだことの中で一番大きいのは、仲間と支え合うことの大切さです。卓球というスポーツは他の誰かがいなければ成り立ちません。そしていつも支えてくれているのはコーチや仲間です。だからこれからも様々な人への感謝の気持ちを持って楽しくプレーしていきたいです。

代表者 田中 直樹

上田市卓球スポーツ少年団は卓球協会の協力により発足しました。上田市民体育館、その他体育施設において、週1回土曜日午後2時間活動を行っています。練習内容は、挨拶から準備体操、あとラケットと球を使つての「ボール遊び」を行い、前半は基本を中心に、後半は能力に応じて、サーブ、レシーブ、試合に対応した実践練習などを行っています。「卓球を通じ、仲間と一緒にスポーツを楽しむ」を基本にし、「スポーツは、一生の友達。スポ少はその窓口」とコーチ一同その理念で実施しております。また、スポーツを楽しむ上でのルール、マナー、自己管理なども

学ばせています。今後もコーチ一同頑張りたいと思っております。



上田市剣道 スポーツ少年団

減少しております。少子化や多種多様な競技により選択肢も増え、団員確保が厳しい現状です。

東塩田小学校 6年

昭和38年 発足
昭和41年 上田剣道第一が長野県スポ少に登録。昭和63年 上田市スポーツ少年団へ加入。

代表者 市村 恵一

上田市剣道スポーツ少年団は旧上田市内を、7分団で構成し活動しております。中央、東、南、川西、豊殿、神科、塩田と東西南北地域で旧市内を網羅し、各分団は独自に週2回ほど各拠点の小学校や社会施設の体育館で稽古に励んでおります。当団では剣道の理念に基づき稽古を通して団員の健全な成長を願い、子供達でも理解できる剣道十訓を諸先輩の先生方が策定。各団は稽古前に全員がこの十訓を唱和し、これを目標に自己研鑽しています。

減少しております。少子化や多種多様な競技により選択肢も増え、団員確保が厳しい現状です。



坂田 隆
ぼくは、9月19日に山梨県甲府市で行われた関東少年剣道大会に南、東、豊殿、塩田分団の合同チームで参加しました。合同チームの稽古に参加してみて、普段の稽古とは違って実践練習が多く、とてもためになったと思います。大会では、1回戦で負けてくやしかったけど、次の大会では勝てるようにがんばりたいと思います。これからも剣道を続けていきたいです。

平成28年度の登録団員(小・中学生)は150名強ですが、年々その数は

上田市ソフトテニス スポーツ少年団

ので、興味のある方は参
加してみてください。

清明小学校 6年

長崎 あき

昭和58年 発足
昭和63年 スポ少登録

6歳上の姉を追いかけ
て入ったソフトテニス団。

代表者 中沢 隆
上田市ソフトテニスス
ポーツ少年団は、小学3
年生から中学3年生を対
象とした団員で構成され、
小学生80名、中学生92名
の計172名で活動して
います。

活動期間は、毎年4月
から始まり、中学生は11
月まで、小学生は翌年3
月まで、土日の早朝6時
から8時までを中心に練
習しています。

他にも少年団の中の
夏季大会、秋季大会、小
学生は地区の大会、県の
大会にも参加して技術の
向上を目指して頑張っ
ています。また、近年は全
国大会に出場する団員も
いて、団員の励みになっ
ています。

ルールやマナーをきち
んと守り、楽しい活動に
なるよう頑張っています



上田市少林寺拳法 スポーツ少年団

達の活躍の場も広がって
います。

東御市立田中小学校

6年 北沢 都夢

昭和59年 発足
昭和63年 スポ少登録

ぼくは、今年で少林寺
拳法を始めて8年目にな
りました。ここまで続け
てこれたのは、日々の
練習の積み重ねが結果と
して出てくるからです。

代表者 両角いずみ
少林寺拳法には流派が
なく、世界を通じて一つ
に統一されている武道組
織です。どんな変化にも
対応できる護身の技術と、
その力を社会貢献に生か
すための行動力を養うこ
とを目的に修行していま
す。最大の特徴は、武道
でありながら相手を倒す
ことを目的とせず、「半
ばは自己の幸せを、半ば
は他人の幸せを」を理念
として、他人と調和し協
調するための修練や大会
の形態をとっているとい
うことです。指導者も子
どもも対等な修行者とし
て、しなやかで芯の強い
人間になるために学びあ
っています。現在、丸子
と塩田に支部を増設。ま
た近年、高校インターハ
イの正式種目に認定され
るなど、ますます子ども

そしてぼくは、今年の県
大会で優勝できました。
それは、精一杯練習をし
てきたからだと思います。
今度はずっともつと練習
をしていって、全国大会
で優勝できるようになり
たいです。



上田市陸上競技 スポーツ少年団

南小学校 6年
宮下 彩花

私
が陸上で教えてもら
ったことの中で、ボール
投げがリズムにのって勢
いよく投げられるようにな
りうれしかったです。

昭和63年 発足
昭和63年 スポ少登録

事務局長 小山昌子
小学校1年生から6年
生までの男女(毎年10
0名近くになります)が、
すべてのスポーツの原点
である走る・跳ぶ・投げ
るの基本を楽しく学んで
います。楽しい中にも技
術を習得して欲しいとい
う思いから年間メニュー
を考え、団員一人一人に
声をかけながら指導して
います。

陸上が得意な子、苦手
な子、他のスポーツと掛
け持ちの子など様々です
が、少しでも成長した姿
を見るのができたらうれ
しいです。中学、高校
生になって陸上を続けて
いる子供達の姿を見るこ
ともあります。子供達の
為に指導者・保護者が一
つになり活動をしていき
たいと思っています。

毎年最後に記録証をもら
えるので、どの位記録が
伸びたか楽しみです。い
ろいろな競技を楽しく学
べてよかったです。



上田市ミニバスケットボールスポーツ少年団

昭和45年 発足
昭和63年 スポ少登録

団長 窪田 明

ミニバスケットボールは、バスケットボールを小学生向きにやさしくしたスポーツです。バスケットボールに親しみ、技術を伸ばし、体力をつけ、みんなで協力をしながら練習をして、規律正しい集団生活の態度を身につけましょうとの趣旨で活動しております。活動は、男子・女子共に、水曜日

上田会場・土曜日塩田会場の2会場にて活動をしております。(その他火曜日・木曜日活動あり)ミニバスケットボールを体験してみたい方は、各会場にいらして下さい。(対象は、小学4年生以上から)

城下小学校 6年

岩本 優芽

私はスポーツ少年団の



女子ミニバスを通して2つの事を学びました。1つ目は仲間です。仲間やコーチと教え合ったり、協力することでたくさん知識や技が覚えられたと思います。2つ目は試合への思いです。ミニバスを始めた頃より今の方が試合をやりたい、挑戦し勝ちたいという思いが強くなったと思うからです。中学でもミニバスで学んだ事をバネにがんばりたいです。

上田市少年硬式野球連盟上田リーグスポーツ少年団

昭和51年 発足
昭和63年 スポ少登録

代表者 会長 佐野 正樹

上田リーグは、今年で設立40周年を迎えます。団員は、小学1年生から中学3年生まで、今年

は女子選手も加わり選手数53名で、毎週土日と祝日の練習日に、専用の古舟グラウンドいっぱい元気な声を響かせ「心とからだ」づくりに励んでいます。今年7月に「リトルシニア林和男旗杯国際野球大会」・「全日本リトルリーグ野球選手権大会」を上田の地に迎え、無事開催することができました。

監督・コーチ・役員等

全てがボランティアですが、保護者の方の協力を得ながらリーグ全体で、子供たちに野球を通じて「団結・友愛・規律」を基本とした健全育成を目指



して頑張っています。上田第二中学校 2年 水出 八尋 ぼくが野球をやっている学んだことは仲間の大切さです。なぜかというチームメイトは自分が何か失敗してしまったときにはげましの言葉をかけてくれてそれが力になり、次は絶対やるぞという気持ちになるからです。今まで声をかけられてきた分、今度はぼくが主将として仲間へ声をかけていきます。

上田市合気道スポーツ少年団

昭和54年 発足
昭和63年 スポ少登録

代表者 村上 静雪

今年度は24名の団員が、毎週土曜日に上田城跡公園体育館柔道場をお借りして大人と一緒に稽古を行います。爽やかな汗を流しています。

定期活動以外では、4月に新人団員歓迎会(お花見)、夏に戸狩で合宿、12月に昇級昇段審査と納会(食事会)、1月に鏡開き等を行っています。合気道は、他のスポーツと違い試合がありません。日本武術から出発した「心身鍛錬の道」です。礼に始まり礼に終わる事はもちろん、二人一組となつて交互に技の鍛錬を行い、相手の導き方や無理なく流れるような自然な動作を目指します。相手と和合し、相手を導ける真のリーダーとなる人材育成を目指し、今後も

活動していききたいと思っています。

青木小学校 5年 安西 陸



合気道は、とても楽しいです。合宿に行った時は、バーベキュー、ジュース飲みほうだいですが、その分、いつもよりも長く、時には、3時間も暑い中でけいこをやりませす。ぼくは、合気道をやつてきてそれが一番つらかったです。合気道は、せい神をきたえ強くなるためのスポーツです。じまんするスポーツではありません。

上田市柔道 スポーツ少年団

昭和44年 発足
昭和63年 スポ少登録

代表者 柳沢 郁之

当団は、「柔道普及の底辺拡大のため子供たちに柔道を教えることを目的として、戦後間もなく活動を開始した。」と聞いております。

そして、資料によると昭和44年8月1日「上田柔道少年団」が結成されました。当団の前身であります。

現在の稽古は、上田城跡公園体育館柔道場で通年行われております。また、近年では当団からも柔道の全国大会に出場できる選手が輩出されるようになりました。これは団員一人一人の稽古と講師全員の思い努力によるものであり、今後ますますの活躍が期待できるものであります。

週2回の稽古日を設け基礎から始めますので、

体力に自信がないと言われる方でも安心して稽古を始められるようになります。ぜひ一度道場に見学にいまして下さい。

清明小学校 6年

船山 葵音

私は年長から上田市柔道スポーツ少年団に所属し、たくさん練習して、2回全国大会に出場しました。6年間で様々なことを学びました。その一つが先生方や仲間、家族、対戦相手への感謝の心の大切さです。今まで学んできたことを生かし、これからも楽しく柔道を続けていきたいと思っております。



上田ラグビースクール スポーツ少年団

昭和62年 発足
平成4年 スポ少登録

代表者 内堀 武夫

上田ラグビースクールは、地域にラグビーを普及する目的と、ラグビーを通じた青少年の健全育成を目的として設立されました。現在の生徒数は11人と少数ですが、ラグビーという楯円球をめぐる独特のゲームを楽しみながら、心と体を鍛え、仲間との強い絆を築いております。練習は、4月〜

12月上堀芝グラウンドと城跡公園内の陸上競技場、冬季は上田第二体育館で毎週日曜日の午前中行っています。試合は主に県内で開催される交流大会に参加しており、今年度は県内外での宿泊合宿も実施しています。

2019年ラグビーワールドカップ日本開催に向け、上田地域のラグビーが盛り上がるよう、生

徒を募集していますので、よろしく願います。

城下小学校 6年

柳沢 順成

ぼくは、スポーツ少年団を通して、人と人との付き合いを学びました。2年生からスポーツ少年団に入り、いろいろなコーチや先輩にラグビーを教えてもらいました。

練習中の会話や、試合をするなかで、年上の人や、年下の人とのかかわり方を覚ええました。そのことが、チームのキャプテンとなった今とても役に立っています。チームの仲間を引っ張り、試合で良い結果を残せるよう、これからも頑張りたいです。



上田市テニス スポーツ少年団

昭和63年 発足
昭和63年 スポ少登録

代表指導者 坂田 富雄

上田市スポーツ少年団創設30周年おめでとうございませう。

私達上田市テニススポーツ少年団は、昭和63年に県下で初めての硬式テニスのスポーツ少年団として誕生しました。

今年度は、小学1年生から中学3年生まで125名の団員が土日を中心に練習をしております。

上田第二中学校 1年 中村 瑚都

私は、小6で硬式テニスに入団しました。

他校の先輩や友達、また試合で出会った市外の友達がたくさん出来ました。今、私にとってテニスをしている時間が一番楽しく充実した時間です。

スタートが遅かった私ですが、コーチから諦めず

に努力を続ける事を教わりました。これからも目標実現に向けてテニスを頑張って続けていきたいです。



塩田少年野球教室 スポーツ少年団

しむ野球」をモットーに活動していきます。

東塩田小学校 6年

平成元年 発足
平成2年 スポ少登録

保護者会代表

池田 大輔

塩田少年野球教室スポーツ少年団は、旧塩田町に住む小学1年生から6年生までの子供達に野球の基本と楽しさを学んでもらおうと始めた教室です。現在は総勢17名で毎週日曜日の午前中に塩田小学校グラウンドにて練習を行い、各種大会へはシーズンを通して参加しています。また、毎年合宿も行っており団員達の結束を強めております。

その他、団の行事として卒団生との交流会やマラソン大会等も実施しています。親子交流会も含めて団員が楽しく野球に触れ合っており甲子園出場者も輩出している歴史ある団です。昨今の情勢から団員数は減少していますが、これからも「楽



林 夏輝

ぼくは3年生から少年野球を始めました。野球はチームプレーが大事なので、一人一人が自分のやるべきことを成し遂げることが、チームのためになると思います。これからもチームプレーを大切にして、野球を頑張りたいです。

それから、野球を通してほかの学校の友達がたくさんできました。そのつながりを大切にしたいです。

上田市スキー スポーツ少年団

上田第五中学校 3年
尾沼 海星

初めてスキーに出会ったのは、僕が小学校に入

昭和53年 発足
平成元年 スポ少登録

代表者 竹田 洋一

シーズン開始前の定期総会をスタートに、シーズン中は、各種大会での好成績を目指す競技班と、ゲレンデでのスキー技術向上を目指す基礎班に分かれて活動します。

競技班は、冬休みや土・日曜日を利用して約40日トレーニングします。コースの準備や片付けを全員で行う等、協力して活動しています。基礎班は日曜日を中心に10日間トレーニングします。色々なコースを滑って、技術の向上を目指します。また、1泊2日で合宿もします。

オフシーズンには、ゲレンデの清掃や、体力づくりを兼ねた登山を行います。



上田ジュニア スポーツ少年団

神川小学校 6年
関口 拓磨

僕は上田ジュニアスポーツ少年団で小1から6年間バレーボールをやってきました。

昭和56年 発足
昭和63年 スポ少登録

代表 関口 大輔

上田ジュニアバレーボールスポーツ少年団では週2回又は3回の練習を上田市内の小学校及び上小地区の体育館にて活動しております。

団員数は小学1年生、6年生までの男子16名で、スポーツ少年団の交流大会の他、小学生連盟・地区協会大会への参加、他チームとの練習試合等に参加させて頂いています。普段の活動では「大きな声で挨拶」、「身の回りの整理整頓」、「元気の良いプレー」、を心掛けており、特に試合では技術的な面も大切ですが、どれだけ元気良くプレー出来たのかを重視しています。今後もスポーツの素晴らしさをより多くの子供たちに伝えられるように指導者一同努めて参ります。

そしてスポーツを通して皆さんの大切な事を学びました。中でも一番大切な事は皆と協力すると言う事だと思います。皆と協力すれば笑顔が増え、仲良くなれてバレーボールが楽しくなります。上田ジュニアで学んだ事を忘れずに中学生になってもスポーツを続けていきたいと思えます。



上田市空手道 スポーツ少年団

昭和50年 発足
平成6年 スポ少登録

代表者 中山 廣重
幼年部・少年部においては、「挨拶」と「返事」、「人の話を良く聞くこと」、「人の行いを良く見る」と、「自分で考え行動すること」等の躰教育に重点を置いております。日本の伝統の中で育った武道としての空手道教育は、礼節・勇気・克己心・忍耐力・弱者に対する思いやりといった社会的な能力、高い徳性を身につけるために効果的であると確信しております。一般部においては、自主性を重んじています。「生涯武道」として空手道をとらえ、自分にある能力で真剣に打ち込んで、自らを鍛え、心身を磨き、自己を向上させることを目標とし稽古を重ねていきます。

上田北小学校 3年
會田 大也

私は空手を習い始めて、1年半になります。

空手を始めた時は、ドラゴンボールのそんな空みたいになりたくて始めました。でも始めてみると、あいさつのし方や、せいごのし方、年上のお兄さんたちとの話のし方、学校では習わないことをたくさん習いました。がんばって練習を続ける楽しさも知りました。もっと空手も気持ちも強くなりたいです。



上田市体操 スポーツ少年団

平成8年 発足
平成8年 スポ少登録

代表者 山本 悟

体操スポーツ少年団の活動は、通年活動・毎月第2・4土曜日、午後2時から午後4時まで、市内小学校・体育館で行っています。

活動内容は、マット、とび箱、鉄棒を行う通常活動と水泳やスケートを行う野外活動を行っています。

活動の方針は、できなかった事(技)ができるようになった時の喜びや達成感をたくさん体験することにより「できないからやる」の気持ちを持ち、何事にも挑戦する強い心と体の成長ができるようにしています。

神科小学校 5年

竹内 柚稀

「体そう教室で出来るようになった事」

私は、小学1年の時に体そう教室に入りました。習い始めのころは、二重跳びや側転が全然出来な

かったけど、体そう教室に入ってから上手に出来るようになりました。体そう教室に入って一番良かったなあとと思う事は、ロングダートやバック転が出来るようになった事です。今の目標は5年生のうちに2回連続でバック転が出来るようになる事です。これからもいっしょようけんめい練習したいと思います。



上田市少年硬式野球 連盟上田南リーグ スポーツ少年団

平成3年 発足
平成8年 スポ少登録

代表者 倉沢 章

活動紹介

副会長 白沢雄一
上田市少年硬式野球連盟「上田南リーグ」は1991年に発足し今年で25年目を迎え、現在小学校1年生から中学3年生まで82名が所属しています。「上田南リーグ」を巣立った少年たちは247名となりました。今年がシニア(中学2年と3年)が信越大会で準優勝し「東京神宮球場」で開催の日本選手権に2年連続6回目の出場を果たしました。また、リトル(中学1年、小学6年)は信越夏季大会で優勝し、京都で開催された全国選抜大会へ2回目の出場を果たしました。ここ数年マイナー、リトル、シニア共に、各種大会や全国大会へ出場して、目覚ましい活躍と成績を残しています。

す。野球に興味のある少年達の入会をお待ちしています。

上田第六中学校 3年
宮坂 愛斗

僕は3年前に上田南リーグに入団し、シニアではキャプテンを任せてもらいました。このリーグで結果を残せるプレーとキャプテンとして全員をまとめることの大切さを学びました。今年2年連続日本選手権大会出場の周りからのプレッシャーもありましたが、全力で戦い抜いた仲間と信頼できる指導者のおかげで最高の思い出ができました。上田南リーグは最高のリーグです。



塩田V・B・C スポーツ少年団

昭和60年 発足
平成7年 スポ少登録

代表者 和田 富雄
我がスポーツ少年団は男女が一緒に活動をしていきます。

指導者は男女合わせ5名、団員は小学生男子13名、女子19名と今年度に入り団員がだいぶ増えています。定期練習は火曜日、木曜日、土曜日、日曜日と週4回行っていますが、上級生と、下級生の練習は分けて練習日、練習内容を変えています。しかし土曜日・日曜日は他県に練習試合、大会と招待を受け行っていますのでバレーボールを通じて仲良くなって交流が盛んになっています。また県内においても練習試合など誘われて特に今年度は女子が北信越大会で優勝を達成しています。今年だけで無く、今後も男女上位を狙って団員と気

持ちを一緒に持ち頑張り
ます。

西小学校 6年

私がバレーボールを始めたきっかけは2年生の夏ロンドンオリンピックを見てやりたいと思いましたが、バレーをしていて一番に残った事は北信越大会に向かってチーム全員で力を合わせて練習や試合を頑張っていた事です。北信越大会で優勝を達成した時は本当にうれしく、やり続けて良かったです。



上田市相撲 スポーツ少年団

平成9年 発足
平成9年 スポ少登録

代表者 団長 伊作 辰平

日本の国技である「相撲」に興味のある人は誰でも歓迎し、青少年の育成を目的に50年以上の歴史を持つ、上田市相撲連盟の元、週1回の稽古(練習)をしています。「礼に始まり、礼に終わる」の相撲道をモットーに少年達の精神的、肉体的の成長を見守っています。また、厳しい稽古ばかりでなく、楽しみなレクリエーションも何回か行っております。
*5月こどもの日に「子どもの日相撲大会」の開催
*9月市民総合体育大会「相撲競技の部」の開催など



上田市ソフトボール スポーツ少年団

平成10年 発足
平成10年 スポ少登録

代表指導者 佐藤 富三郎

ソフトボールスポーツ

少年団は、小学生から中学生を対象としており、

指導には上田ソフトボール協会のメンバーや保護者「ソフトボールクラブ員」があたっています。団の練習は、清明小学校グラウンドを借りて、毎週土曜日の午前中2時間行っています。対象を中学生までとしているのは、上田市の中学校にソフトボールクラブがないからです。高校で活躍する選手を育成することも目的のひとつです。過去には、団から高校に入りバッテリーや野手で活躍した人もいます。ボールは高学年用の2号ボールを使用。一般用の3号ボールよりひと回り小さいのですが、子供の手には大きく感じ



ることでしょう。指導する協会のメンバーは、小学生からみると爺婆ちゃん世代が多く和やかな雰囲気。前身は20年ほど前に活動を始めた北小学校を拠点にしたクラブで北信越大会にも参加した時もありました。

城下小学校 5年

清住 ひより

お父さんが、ソフトボールをやっていたので、私が3年生、妹が1年生の時に始めました。最初は上手に投げられなかったボールも上手に投げられるようになったし、ダブルプレーやバッテリーもできるようなったので嬉しいです。



上田市スポーツ少年団

上田市ゴルフ スポーツ少年団

平成12年 発足
平成12年 スポ少登録

代表者 団長 木内一夫

平成12年に上田市ゴルフ協会が設立した県内で初めてのゴルフスポーツクラブです。「市内の子どもたちへのゴルフの普及とゴルフを通じて青少年健全育成」を目的につくられました。4名の指導者と15名のゴルフが大好きな仲間たちが上田市スポーツ少年団へ登録しています。活動は毎月第2・第4土曜日、午前9時30分から2時間、「塩田ゴルフ練習場」で活動しています。また、近隣のゴルフ場のご協力のもとプロゴルフファーが使用するコースでのラウンド練習があります。静止したボールを打つスポーツですが、ゴルフには様々な醍醐味があります。是非、少年団で体験してください。

上田第三中学校 2年

島田 幸翼

僕は、部活が運動部ではないのでゴルフはほぼ毎回練習ができます。ゴルフ練習場での打ちっぱなしがほとんどですが、年間6回のコース練習ではゴルフ場でルールやマナー、エチケットなどを学びます。そして家族と一緒にラウンドした時は、とても楽しくプレーすることができました。もっと飛距離を伸ばし、パットも決められるようにこれから練習を頑張りたいと思います。



上田市乗馬 スポーツ少年団

平成12年 発足
平成12年 スポ少登録

代表者 金子 政夫

上田市乗馬スポーツ少年団は、市民の森公園馬術場で毎週土曜日8時半から11時半まで活動を行っています。市民の森の豊かな自然と里山の人々の暖かな人情に触れながら、動物たちから受ける心と体の成長を期待し子供達の心に何かが刻みこまれていくことを目指しております。乗馬のスポーツ少年団は全国においても非常に難しくまれない存在ですが、私達は不可能なことに一致団結して挑戦していこうと思っています。

上田高校 3年

中村 瑠佳

上田市乗馬スポーツ少年団は、小学校4年から高校3年生の男女11人が所属しています。練習は馬のお部屋の掃除から始まり、騎乗レッスンをを行っています。乗馬は馬とコミュニケーションをとりながらするスポーツであり、そこが楽しいスポーツです。スポーツ少年団の子供たちはまだまだ思うように馬を動かすことが出来ず、毎週奮闘しています。毎年秋に上田乗馬倶楽部で開催される大会に出場することを目標に子供たちも練習をしています。



FC東上田 スポーツ少年団

平成12年 発足
平成13年 スポ少登録

団長 尾崎 伴見

FC東上田スポーツ少年団のチーム発足よりのコンセプトは、保護者がコーチ、監督、スタッフとして協力するが、各学年のチーム編成で、自分の子どもの居る学年のコーチ、監督はできない。又各種資格を取得する。スポ少の認定員資格の他日本サッカー協会の審判員資格、現在4級25余名、3級9名有資格者が居る。サッカー技術の向上ばかりではなく、楽しいサッカーと友達づくりの場としての活動の中で、毎月親が（お母さんも）参加してサッカーをする親子サッカー日を実施したり、毎回の練習の中で子ども対コーチの試合も盛んに行われ、大人が楽しくプレーする事でサッカーの楽しさを伝えている。

神川小学校 6年

田辺 權愛

今年FC東上田に入団して、8年目になります。このチームで学んだことはたくさんありますが、その中でも気持ちを込めて挨拶をする・仲間を大切にすること、この二つを監督・コーチから教わりました。サッカーは一人では出来ません。僕はキャプテンとしてチームをまとめ、仲間を思い合ったプレーをして目標に向けて一致団結した最高のチームを作り上げたいです。



上田市アーチERY スポーツ少年団

しいアーチERYが一杯です。

丸子北中学校 3年

武井 美夕

平成13年 発足
平成13年 スポ少登録

代表者 村上 正之

毎年沢山の小中学生の皆さんが毎週日曜日の2時間の練習を楽しみにしています。中間に15分、20分の休憩時間を取りますが、保護者の皆様を加えるとクラブハウスは満員状態で、賑やかです。休憩時間を利用して練習する保護者の方もいます。親子で楽しむ事もあります。弓具の不足問題等ありますが、何とかやりくりしています。毎年

5月末には、木島平村で合宿・7月末に全国中学生大会に全員で参加しています。何より楽しいアーチERYを目指して、指導員一同安全第一を心掛けています。指導者の中には、全日本体育協会認定指導員資格を取得し在籍していますので見学や体験等大歓迎です。



上田市バレーボール 上野が丘 スポーツ少年団

っています。

神科小学校 6年

藁谷 練

平成5年 発足
平成14年 スポ少登録

代表者 中村 佳代

上野が丘バレーは、今年で創部23年目を迎えます。ママさんバレーの練習についてきていた子ども達に、バレーボールも本格的に教えようと思いついたのがきっかけで、毎週土曜日の午後、上野が丘体育館で練習を行っています。今年も土曜日の練習に加え、水・金曜日にも自主練習という形ではありますが、練習を行っています。また、春と秋の年2回合宿を行い、仲間と寝食を共にしながら、バレーボールの技術向上だけでなく、素直・謙虚に練習に取り組むことや、挨拶、礼儀やマナーを学んでいます。各種大会・バレーボールイベントへの参加の他、他チームや中学生との練習試合に加え、奉仕活動も行

はくが上野が丘バレーを通じて、学んだ事、楽しかった事うれしかった事は、全部で二つあります。一つ目は、仲間と協力することです。バレーは、団体戦なので仲間と助けあっていく事を学びました。二つ目は新しい仲間ができた事です。他校の人たちとも仲良くなれたのがうれしかったです。このチームに入ってきて、みんなとバレーができて、本当によかったです。



上田ジエンシャン スポーツ少年団

チームの選手となるように、日々過ごしています。

東小学校 6年

黒川 啓太

平成5年 発足
平成14年 スポ少登録

代表者 中島 一雄

社会人北信越フットボールリーグに所属するFC上田ジエンシャンの下部組織として、サッカーを楽しみ、技術向上を目指す場としてJリーグ発足の年にジュニアチームを設立し、平成11年にジュニアユース(中学生)チームを設立しました。ジュニアチームは毎週日曜日、夏の暑い日、冬の寒い日、通年ボールを追いかけています。高学年になると日曜日の活動に加え平日夜間のトレーニングで技術の習得に最適なゴールデンエイジを過ごしております。ジュニアユースでは、ジュニア期の「積み重ね」をより確かなものにすべく活動しております。育成年代で作った子供たちがトップ

ぼくにとつて今までの中で二番目に嬉しかったことは、昔は試合に敗けても笑っている人とかやしんでいる人がいてバラバラでした。でも今になるとくやしいという気持ちが出て、一致団結ができています。一番嬉しかったことはこのチームメイトとサッカーができるということです。このチームメイトとサッカーをするなら一生サッカーができると思います。



上田バドミントン スポーツ少年団

平成15年 発足
平成15年 スポ少登録

指導員 田中 隆夫
上田バドミントン教室
ジュニアよりスポーツ少年
年団に移行。

現在、36名が少年団登録。小学3年生から中学3年生までの男女で、土曜日の13時から上田市内体育館で活動しています。バドミントンは、生涯スポーツとして気軽に楽しめますが、競技スポーツとして見た場合、厳しくハードな競技です。子供達にとって少しづつでも上達でき、いつまでもバドミントンが大好きなスポーツであるよう私達指導員も楽しんで取り組んで行きたいと思っています。

神科小学校 4年

渡辺 怜奈

初めの頃は上手に打てなかったけれど、練習を沢山してラリーを続けら



れるようになりました。打てるようになるのとても嬉しいので、練習は大切だなと思いました。

中塩田小学校 3年
田中 里歩

私がバドミントンをやるうと思っただきかけは、お父さんを見てやろうと思いましたが。新しい友達も3人でき、コーチも優しくしてくれます。早く沢山打てるようになりたいです。

武道 空手 スポーツ少年団

平成11年 発足
平成15年 スポ少登録

代表者 山崎 健二郎
武道空手スポーツ少年
団は、現在、古里、川西、
塩田、丸子の4教室で行
っております。

武道ですので礼儀を持たせ、格闘を通じて鍛える修行の場です。くやし、つらい等の想いも経て心身は強くなっていき、時間はかかりますが、自身の弱さを克服して喜びも得られると思います。そして身を守れ、精神の安定を獲得できる、それが「強さ」と考え指導しております。



東小学校 6年
武舎 流暉

僕は1年生の時から空手をやっています。これまで道場で学んだ事は色々ありますが、一番は「我慢」です。その「我慢」と言うのは例えば、稽古で暑かったり、すごく疲れていても「我慢」をして外に出さず最後までやる、そういう事だと思います。

上田レスリング スポーツ少年団

平成17年 発足
平成17年 スポ少登録

代表指導者 児平 雅啓

我々上田レスリングスポーツ少年団は、平成17年4月に上田レスリング協会が設立となり、その下部組織として、同年同月に設立いたしました。2004年アテナオリンピックでの吉田沙保里、伊調馨の女子レスリングの活躍から、上田からもオリンピック選手を輩出できたという思いからスタートいたしました。水曜日、金曜日、日曜日の週3回上田西高校のレスリング道場のマットにて、基礎運動を中心にレスリング競技の習得に励んでいます。今年初めて小学生全国大会にて、3位の選手を輩出することができました。また、当団一期生の選手が、今年国体にて5位入賞となりました。今後は上田からオリンピック選手を輩出出来るよう頑張りたいと思います。

神川小学校 4年
橋本 百代

スポーツ少年団に入団してよかったことは、いろいろな人との交流があるからです。入団する前そんな人との交流がなかったので入団してよかったと思います。スポーツ少年団では交流会があるって色々なスポーツをやっている人と交流できるのでとてもいいです。これからも交流会に出たいです。



神川フットボールクラブ スポーツ少年団

平成2年 発足
平成17年 スポ少登録

代表者 江原 正行
私達のクラブは、上田市東部を流れる神川沿岸地域の子供達を中心に活動しています。

メンバー構成は年長児から小学6年生で、春から秋にかけて週3・4回の練習に励んでおります。上小リーグ戦（4年生以上）・各種大会・遠征・交流戦等で練習してきた成果を試合で存分に発揮出来る様、各々が工夫し頑張っています。技術向上だけでなく、「礼儀正しさ」「自ら見て考え判断する力」「失敗を恐れずチャレンジ」といったサッカーを通して人としての成長も目指しています。

周りの方への感謝を忘れず、心身鍛錬の場として神川FC一丸となり継続させてゆく所存です。一緒に練習しませんか？

城下小学校 6年

小山 真宏

ぼくが神川FCに入って楽しかった経験は、合宿です。上級生やコーチからたくさんの事を教えていただきました。コーチのみなさんには、本当に感謝しています。ありがとうございました。そして一番は、最高の仲間達と同じ目的に向かって、全力でサッカーを出来た事です。この先いろいろな事かあると思うけど、神川FCで学んだ事を生かしていきたいです。



FCリガレ上田 スポーツ少年団

平成17年 発足
平成18年 スポ少登録

代表者 小坂 秀人
FCリガレ上田スポーツ少年団は、平成17年に、当時の吉田育成会のサッカー担当者が、少子化が進むにつれ、サッカー選手が集まらないことや、上田市の左岸地区にサッカークラブがないこともあって、サッカーを楽しむ環境を整え残したいという想いで、日本サッカー協会に登録をして、上田南FCを発足させました。翌年にスポーツ少年団に登録をしました。

設立10年を機に名称を変更し、今では、ジュニアユースともども各カテゴリーで、リーグ戦や各種大会で選手が活躍をし、好成績も残せるようになりました。

サッカー好きな子供たち、子供好きなコーチスタッフ（ボランティアで

すが）募集中です！

南小学校 6年

小坂井 宝

ぼくは、3年生の時にスポーツ少年団のリガレに入りました。学んだことは、だれにでもあいさつをすることやみんなと協力することです。楽しかった、うれしかったことは、みんなと合宿に行ったことや試合で点を決めたことです。



腰越 スポーツ少年団

昭和62年 発足
昭和62年 スポ少登録

代表者 小山 保高
腰越JSCは2017年に設立30周年を迎える歴史あるスポーツ少年団です。現在小学生23名、中学生10名が所属しております、小学1年生、中学3年生まで総勢33名で活動しています。

練習は月曜日、金曜日：18:00～19:30、土曜日：日曜日：16:00～17:30に腰越児童公園で其々都合の良い日を選んでやっています。

タイムトライアル、集団走、ジョグを通じて力を付け、練習後のフットベース、サッカー、大縄飛びで遊びの中から基礎体力を養い、各種大会で好成績を収めています。

多方面の学校の人と一緒に走る事で仲間意識や競争心が芽生え、子供達も母集団も成長する機会

を頂いていると感じています。

丸子中央小学校 6年

成澤 爽

ぼくは、リレーの選手になりたくて小学3年生の冬に腰越JSCに入りました。去年に続き市町村対抗駅伝で上田市の代表として走り、今年は優勝する事ができました。

また、去年は7月の白馬クロスカントリー駅伝大会で長野県1位になり、全国大会に出場し、日本の皆とも走れました。これからも妹と一緒に自己ベストタイムが更新できる様に練習頑張ります。



丸子剣道 スポーツ少年団

るように指導者、母集団、団員一丸となり仲良く剣道に励んでおります。

昭和63年 発足
平成元年 スポ少登録

丸子中央小学校 5年
森 みやび

私は剣道を初めて3年

指導員代表 寺島 信幸
毎週水曜日、午後7時
9時、丸子北小学校体育館で団員9名、指導者3名、母集団7名で体育館に元気よく出向いて参ります。現在の団員は全

がたちます。2年生の時間にお母さんのすすめで入りました。今は上級生で仲間も増えて楽しいです。9月に依田窪大会が行われ、個人戦は1回勝つて良かったです。

員丸子剣道教室の子供たちですが、発足当時は自治会内の子供たち13名でその他、丸子中学7名、高校生1名でしたのですが、一時存続が出来ないかと思われ時期もありましたが、現在に至っております。

団体戦で中堅、大将と引分けになり、代表者戦に私が又出て勝つて3位をもらえて嬉しかったです。練習をもっとがんばって今度は優勝したいです。

平成5年には富山県で行われた第15回全国スポーツ少年団剣道交流大会にも参加させていただきました。そんな23年も前のことが良き思い出となっておりますが団員一人一人が大人になった時、スポーツ少年団を通して心に残るような活動とな



丸子塩川 スポーツ少年団

レーボールをやって学んだのは「協力」です。バレーボールは協力しなればできません。レシーブをする人がいるからトスを上げられる。そしてアタックを打つ事ができ、それが点につながる。どれも大事で、人が協力し合えないとバレーボールはできないのです。私はスポ少の活動を通して、協力する事の大切さを知りました。

平成元年 発足
平成14年 スポ少登録

代表 屋井 利津子

我々丸子塩川スポーツ少年団は、旧丸子町の塩川地区を中心に活動している女子バレーボールチームです。週3日の活動で、練習や色々な大会への参加を行っています。

年に数回は、低学年を含めて合宿や遠征なども行つて、集団生活における協調性を養つたり、また、バレーボールだけでなく上田市の夏の風物詩「うえだわっしょい」にも

チームとして毎年参加し、3年連続で「わっしょい賞」を獲得したり、さまざまな経験が少しでも子供達の成長の役に立てればいいと思っています。



塩川小学校 6年
鈴木 亜里彩
私は1年からバレーボールをやっています。バ



丸子J、T、T スポーツ少年団

うのが今後の課題です。
丸子中学校 1年
石川 美空

平成12年 発足
平成14年 スポ少登録

私は小学4年生の時に卓球を始めました。月に約3回、夜の7時から8時半まで丸子総合体育館で練習しています。小学生から大人までの幅広い年齢の人がいます。いろんな学校の人と練習が出来てとても楽しいです。

代表者 牧田 康明
丸子JTTは設立から17年を迎えた丸子で4番目に誕生した卓球スポーツ少年団です。活動内容は、毎月第1・第2・第4土曜日の3回、夜7時から8時半まで丸子総合体育館で、指導者5名、小学生から高校生までの団員12名の17名で活動しています。上田市合併からは、丸子地域だけでなく旧上田市地域からも参加する人もいます。準備体操の後、前半・後半で基礎練習、応用練習、ダブルス、シングルの試合形式の練習を行い、時々はドッジボール等の球技で体力作りをしています。現在、丸子中学校、丸子北中学校、依田窪南部中学校には部活動としての卓球部が無い為、中学校では他の部活動に移行してしま

始めたばかりの頃は、思いきり玉を打つてばかりだったけど、先生が基本から教えてくれました。人数も始めたころは少なかったけど、今は増えてきています。私はこれからも卓球を続けていきます。

練習の後、前半・後半で基礎練習、応用練習、ダブルス、シングルの試合形式の練習を行い、時々はドッジボール等の球技で体力作りをしています。現在、丸子中学校、丸子北中学校、依田窪南部中学校には部活動としての卓球部が無い為、中学校では他の部活動に移行してしま



長瀬 スポーツ少年団

昭和50年 発足
平成17年 スポ少登録

代表者 細谷 文夫
毎週土日の午前中、丸子北小グラウンドを練習会場に活動しています。

今年度は依田少年野球の皆さんと共に「長瀬依田少年野球」という合同チームで活動してきました。野球というスポーツを通じて、野球の楽しさ・仲間づくり・先を見据えた技術向上、人間形成を図ることを目標としています。年齢を超えて団員同士がとても仲が良く、勝利を目指してチーム一丸となって頑張っています。

丸子北小学校 6年

小野 樹生

僕は、4年生までベンチで応援でした。5年生から本格的に試合に出始めました。最初は打てず、守れずでチームのみんな



に迷惑をかけてしまいました。なので、チームに迷惑をかけないように毎日毎日素振りやノックを頑張りました。6年生では、東信大会で3ベースヒットを打つことができ、チームも県大会に出場することができてとても嬉しかったです。

依田少年野球 スポーツ少年団

昭和49年 発足
平成18年 スポ少登録

代表者 金井 清志
依田少年野球スポーツ少年団は地域を問わず小学校1年生から6年生までの児童で土曜日、日曜日を中心に活動しています。

経験豊かな指導者のもと練習に励み、年間10大会以上に参加をして各大会で結果を残してきました。

OBには甲子園で活躍した選手も輩出している歴史のあるチームです。今年度は団員数の減少により同地域で活動をしている長瀬JSCと合同で活動をしています。

野球を通して礼節を学び、子供達が人間として成長することを指導者、保護者を含め地域ぐるみで応援する素晴らしいチームです。



丸子北小学校 6年
齊藤 諒
今年度は長瀬JSCと合同でやりました。

ぼくは、2012年の2年生の時に入団しました。そして投げ方・打ち方・走塁など、いろいろな事を教えてもらいました。ぼくは、今まで一度だけスリーベースヒットを試合で打ちました。指導者の皆さんに一番教えられたのは、気持ちです。そしてヒットを打った時は、絶対打ってやる！という気持ちで打ちました。だから打てたと思います。

真田 剣道 スポーツ少年団

昭和44年 発足
平成4年 スポ少登録

代表者 田中 昌彦
真田剣道スポーツ少年団は、旧真田町時代(昭和44年)から行われてきた小学生の「少年剣道教室」に加えて、スポーツ少年団にも登録し活動しています。

平成4年、千葉県習志野市から郷土の真田町に戻られた佐藤忠睦先生の御指導のもと、真田中学校の剣道部員をスポーツ少年団に登録し、さらに、平成7年には、町内三つの小学校で行われていた剣道教室を一つにし、小学生も登録することとなりました。

真田の団旗には、佐藤先生直筆の「平常心」の文字が刻まれています。さらに、日頃から先生が話される『継続は力なり』が急がず、休まず、失望せずをモットーに、地域



を担う小中学生が真田の郷で稽古に励んでいます。
本原小学校 6年
吉池 舞子

私は、6年間スポーツ少年団剣道教室を通して学んだ事や、うれしかった事があります。
学んだ事は、礼儀正しくする事です。あいさつ、姿勢など、普段の生活にも大切な事です。道場に入る時から心をこめて大きな声であいさつをする、力がわいてきます。そして、先生に「上手」「すごく良い」と言ってもらえると、うれしくて、けいこも頑張る事が出来て楽しいです。

上田ハンドボールクラブ スポーツ少年団

ドボールの練習を行っています。

北小学校 6年

宮坂 誠心

平成19年 発足
平成19年 スポ少登録

代表者 小田 実

上田ハンドボールクラブは、上田市で小中学生へのハンドボールの普及を目的として創設されたスポーツ少年団で、10年目を迎えます。

創設時は、「上田ハンドボールスポーツ少年団」という名称でしたが、平成24年から、「上田ハンドボールクラブ」と名称を変え、活動しています。

ハンドボールは、1チーム7人がボールを相手のゴールにシュートして勝敗を競うスポーツです。走る・跳ぶ・投げるという運動における基本3要素を求められ、ダイナミックなシュートシーンやスピーディーな試合展開が魅力のスポーツです。現在、小学校1年生から中学校3年生まで30名の団員が楽しみながらハン



塩川少年野球 スポーツ少年団

団員募集中ですので、興味のある方はご連絡をお願いします。

平成7年 発足
平成19年 スポ少登録

代表者 小林 聡

上田市立塩川小学校の児童を中心に軟式野球の活動を行っています。

活動は塩川小学校と藤原田地区のグラウンドにて、毎週土日の午前中を基本として行っています。丸子町の少年野球大会や学童少年野球の大会など、年間通して多くの少年野球大会に優勝を目指して参加しています。

団員や保護者のチームワークを高めるために、バーベキュー、親子野球、合宿を毎年実施しています。

団員には活動を通じて、野球の楽しさ、挨拶や感謝の大切さを学び、卒団後も野球を続けてもらいたいと考え活動を行っています。

現在、男子19名、女子1名の団員にて活動を行



ちびっこ何でも スポーツ少年団

北小学校 2年
神津 陽奈

平成23年 発足
平成24年 スポ少登録

団長 橋詰 一夫

子ども達にさまざまなスポーツを体験できる場を提供したいという思いで、上田市体育協会事務局主導のもと設立されました。年中から小学2年生までの子ども達が対象で、上田市スポーツ少年団の各団協力のもと、野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ソフトテニス、硬式テニス、陸上、レスリング、アーチェリー、器械体操、ダンスなど特定の種目にとらわれないのが特徴です。4月から11月末までの18回のプログラムで行っています。

子どもたちがスポーツを大好きになってもらうことを団のモットーとして活動しております。



真田少年野球 スポーツ少年団

平成26年 発足
平成26年 スポ少登録

代表者 小河原 洋

真田少年野球スポーツ少年団は平成26年度に真田地域の本原地区、長地区、傍陽地区、菅平地区の選手を中心に設立されました。現在は旧上田市の学校からも数名入団しており、毎週日曜日13:00～16:00まで、真田運動公園グラウンドで活動しております。又、真田中野球部の部員も全員所属しており、小中一貫指導を実現するとともに、部活外の練習時間の確保や顧問の先生の負担軽減にも寄与しております。



最近では6年生だけ、更には1つの地区だけでチームを構成することが極めて難しい為、低学年を含めてチーム一丸となり、1球1球を大切に一戦必勝で頑張ります。

丸子北クラブ スポーツ少年団

平成26年 発足
平成26年 スポ少登録

団長 山本 紀雄

個性の伸長を図ると共に身体的及び精神的にも強い意志のある人間を育成し、規則を守り礼儀正しい人間を育成する。また、単に技能を高めるだけでなく、お互い協力し助け合い、将来、社会人として必要な人間性を高めることを目的として「丸子北クラブ」を発足し活動しています。主に全日本春季少年軟式野球大会・全日本軟式野球大会・中部日本地区選抜中学校式野球大会に出場し上位を目指しています。



先生、外部コーチ、OB、地域の皆様から声援を受けていますので感謝を忘れず野球により一層の充実を図り「全員野球」をさらに推進したいと思えます。また、今後はジュニア部門の育成

丸子JBC スポーツ少年団

平成24年 発足
平成27年 スポ少登録

責任者 清水 満

丸達丸子北クラブは、野球だけでなく、人として成長するための力、特に学校生活、礼儀、挨拶などを学んでいます。毎日の厳しい練習にくじけそうになりますが、仲間と一緒に考え、励まし合ってきました。昨年度、先輩方が全国大会に出場したこともあり、現チームにとっては大きなプレッシャーですが、そのプレッシャーも力に変え先輩を越えられるよう努力します。



丸子JBCは、楽しく野球をすることを基本として、その中から礼儀を覚えたり、感謝の気持ちを育む指導をしています。

その結果が勝利につながると信じて、日々練習に励んでいます。

本原小学校 6年

坂口 陽人

僕は2年生の時に野球を始め、今のチームのキャプテンをしています。僕が野球をしていて一番嬉しいことは、試合に勝つことです。そのために毎週一生懸命練習に取り組んでいます。練習で教わったことは、試合できちんと活かさなければならぬので、これから一生懸命練習に取り組んで、試合に勝ちたいです。

丸子北中学校 2年
西沢 太一

僕達丸子北クラブは、野球だけでなく、人として成長するための力、特に学校生活、礼儀、挨拶などを学んでいます。毎日の厳しい練習にくじけそうになりますが、仲間と一緒に考え、励まし合ってきました。昨年度、先輩方が全国大会に出場したこともあり、現チームにとっては大きなプレッシャーですが、そのプレッシャーも力に変え先輩を越えられるよう努力します。

私たちが丸子JBCは、毎週土曜日、日曜日練習をしています。

その他に、4月に激励会、6月にBBQ大会、8月に合宿、11月に親子野球を行っています。

大会では、各少年団の大会、丸子リーグ、丸子カップ、長和カップ、5年生以下を主にしたひよこリーグ等に参加しています。

丸子中央小学校 6年
田村 優悟

丸子JBCは1年から6年生で現在23名のチームで練習や試合を楽しくやっています。チームワークをよくするために合宿やバーベキューなどもやっており、特に合宿はみんなが楽しく、笑いあって過ごせる日となっています。これからもチーム一丸となってみんなで頑張っていきたいです。野球をやってみたい仲間！丸子JBCで待っています！

上田市スポーツ少年団歴代表彰者一覧（平成19年度～平成28年度）

（敬称略）

※平成5年度から平成18年度の表彰者については、「みどりの朝風 20周年記念号」で紹介しております。

日本スポーツ少年団 顕彰（功労者）		FC東上田		尾崎 伴見		21年度		
22年度	佐渡 武夫 上田市スポーツ少年団副本部長	24年度	上田市アーチェリー	村上 正之		平井 俊一	FC東上田	
24年度	宮下 省二 上田市スポーツ少年団副本部長		上田市バレーボール上野が丘	中村 紀雄		宮島 健一	塩田少年野球教室	
28年度	勅使川原 繁行 上田市スポーツ少年団副本部長	25年度	上田ジェンシャン	中島 一雄		塚田 英一	上田南リーグ	
日本スポーツ少年団創設50周年記念事業（功労者）			上田バドミントン	金井 辰夫		塩野入 満知恵	ソフトボール	
24年度	凜 勉 上田市スポーツ少年団副本部長		武道空手	山崎 健二郎		塩崎 秀克	FC東上田	
	佐渡 武夫 上田市スポーツ少年団副本部長		上田レスリング	児平 雅啓		森 和弘	スキー	
	宮下 省二 上田市スポーツ少年団副本部長	26年度	神川フットボールクラブ	江原 正行		甲 田 勇	上田リーグ	
	高橋 幸夫 軟式野球		FCリガレ上田	小坂 秀人		三木 昭彦	上田南リーグ	
	土屋 康雄 軟式野球	長野県スポーツ少年団 感謝状					六川 京子	ソフトボール
	土井 恭也 軟式野球	19年度				松尾 明	FC東上田	
	石谷 雄三 卓球		赤羽福次郎			井尻 英明	軟式野球	
	田中 悦朗 剣道	26年度	黒澤 弘幸			澤田 かつり	剣道	
	宮崎 英夫 陸上競技		凜 勉			児玉 光市	ソフトテニス	
	内藤 亮司 サッカー	長野県スポーツ少年団創設50周年記念表彰（功労指導者）					倉嶋 隆雄	陸上競技
	窪田 明 ミニバスケットボール	26年度	凜 勉 本部長			内山 雄司	上田リーグ	
	佐野 正樹 上田リーグ		佐渡 武夫 副本部長			石坂 憲詞	スキー	
	滝澤 恵一 ラグビー		佐野 正樹 副本部長			比田 井亮	上田南リーグ	
	坂田 富雄 テニス		宮下 省二 副本部長			鹿野 政孝	ソフトボール	
	勅使川原 繁行 塩田少年野球教室		坂田 富雄 本部長			木内 一夫	ゴルフ	
	中澤 和義 塩田少年野球教室		勅使川原 繁行 本部長			竹田 和徳	FC東上田	
	元木 繁夫 塩田少年野球教室		高橋 幸夫 本部長			岩瀬 啓	軟式野球	
	志摩 光浩 スキー		窪田 明 本部長			宮島 国夫	塩田少年野球教室	
	香山 知生 スキー		山本 悟 本部長			内藤 昌知	スキー	
	山本 悟 体操		田中 悦朗 本部長			丸山 静行	上田南リーグ	
	三好 健三 丸子塩川		土井 恭也 軟式野球			飯島 乙彦	ソフトボール	
	佐藤 忠睦 真田剣道		宮崎 英夫 陸上競技			中村 哲男	ゴルフ	
	長野県スポーツ少年団顕彰（功労指導者）		中澤 和義 塩田少年野球教室			大矢 晴雄	FC東上田	
	19年度	村上 静雪 合気道	元木 繁夫 塩田少年野球教室			青木 康夫	上田リーグ	
須貝 直好 スキー		長野県スポーツ少年団創設50周年記念表彰（優秀団）				柳沢 貴夫	塩田少年野球教室	
三井洋治良 上田リーグ		上田市軟式野球スポーツ少年団			竹田 洋一	スキー		
20年度	土屋 康雄 軟式野球	上田市卓球スポーツ少年団			齋藤 敦	上田南リーグ		
	若林 泰憲 テニス	上田市剣道スポーツ少年団			清水 孝典	FC東上田		
	元木 繁夫 塩田少年野球教室	上田市ソフトテニススポーツ少年団			竹花 良二	上田レスリング		
21年度	石谷 雄三 卓球	上田市少林寺拳法スポーツ少年団			北沢 育夫	陸上競技		
	荒井 喜敬 陸上競技	上田市陸上競技スポーツ少年団			関 和洋	上田リーグ		
	滝澤 恵一 ラグビースクール	上田市サッカースポーツ少年団			石崎 隆二	塩田少年野球教室		
22年度	窪田 明 ミニバスケットボール	上田市ミニバスケットボールスポーツ少年団			池田 義治	スキー		
	山本 悟 体操	上田市少年硬式野球連盟上田リーグスポーツ少年団			濱野 智行	上田南リーグ		
	会田 安彦 塩田少年野球教室	上田市合気道スポーツ少年団			石 井 洋	ソフトボール		
23年度	白沢 雄一 上田南リーグ	上田市柔道スポーツ少年団			中田 順一	FC東上田		
	嶋形 不二夫 FC東上田	上田ラグビースクールスポーツ少年団			中島 明弘	アーチェリー		
	神津 道徳 アーチェリー	上田市テニススポーツ少年団			矢ヶ崎 紅	剣道		
24年度	山宮 浩美 真田剣道	塩田少年野球教室スポーツ少年団			野口 和彦	上田リーグ		
	甲田 勇 上田リーグ	上田市スキースポーツ少年団			田中 千恵子	スキー		
	太田 匡則 上田南リーグ	上田ジュニアスポーツ少年団			清水 秀樹	上田南リーグ		
25年度	佐藤 富三郎 ソフトボール	上田市空手道スポーツ少年団			岡崎 真一郎	FC東上田		
	松尾 明 FC東上田	上田市体操スポーツ少年団			上田市スポーツ少年団創設30周年記念顕彰（功労指導者）			
	三好 健三 丸子スポーツ少年団	上田市少年硬式野球連盟上田南リーグスポーツ少年団			宮下 省二	軟式野球		
26年度	凜 勉 上田市スポーツ少年団	塩田V・B・Cスポーツ少年団			高橋 幸夫	軟式野球		
	佐野 正樹 上田市スポーツ少年団	上田市相撲スポーツ少年団			土井 恭也	軟式野球		
	村上 正之 アーチェリー	上田市ソフトボールスポーツ少年団			檀原 勇	剣道		
	藤城 富美子 上田南リーグ	腰越スポーツ少年団			市村 恵一	剣道		
	塩崎 秀克 FC東上田	丸子塩川スポーツ少年団			佐藤 謙一郎	ソフトテニス		
	中澤 和義 塩田少年野球教室	丸子剣道スポーツ少年団			佐藤 暁	ソフトテニス		
	井尻 英明 軟式野球	真田剣道スポーツ少年団			成澤 俊夫	上田リーグ		
	塚田 英一 上田南リーグ	上田市スポーツ少年団表彰（功労指導者）				酒井 勉	上田リーグ	
	岡島 秀治 ソフトボール	荒井 喜敬 陸上競技			若林 泰憲	テニス		
	前島 聖治 FC東上田	中島 章仁 上田リーグ			渡邊 安雄	テニス		
	赤池 正敬 アーチェリー	清水 隆弘 上田南リーグ			中澤 和義	塩田少年野球教室		
	宮島 健一 塩田少年野球教室	前島 聖治 FC東上田			元木 繁夫	塩田少年野球教室		
内山 雄司 上田リーグ	檀原 勇 剣道			会田 安彦	塩田少年野球教室			
27年度	比田 井亮 上田南リーグ	関 薫 陸上競技			須貝 直好	スキー		
	木内 一夫 ゴルフ	西沢 良人 スキー			長井 文雄	スキー		
	長野県スポーツ少年団顕彰（単位団）		山口 正浩 上田リーグ			内藤 昌知	スキー	
年度	単位団	代表指導者			森 和弘	スキー		
19年度	上田市体操	山本 悟			志摩 光浩	スキー		
	上田南リーグ	倉沢 章			宮島 英行	スキー		
20年度	塩田V・B・C	和田 富雄			香山 知生	スキー		
	上田市相撲	宮崎 君雄			宮田 祥司	上田南リーグ		
21年度	上田市ソフトボール	佐藤 富三郎			太田 匡則	上田南リーグ		
	上田市ゴルフ	木内 一夫			和 田 富 雄	塩田V・B・C		
22年度	上田市乗馬	金子 政夫						

長野県 上田市スポーツ少年団の歴史（平成19年度から平成28年度）

※昭和61年度から平成18年度までの上田市スポーツ少年団の歴史については「みどりの朝風 20周年記念号」で紹介しております。

- 平成18年3月 合併によりスポーツ少年団登録事務を上田市体育協会で一本化。
- 平成19年度 ●北信越ブロックスポーツ少年団交流大会兼全国バレーボール交流大会北信越大会を自然運動公園体育館で行う。
●長野県スポーツ少年団交流大会(剣道・なぎなた)を行う。
●上田ハンドボールクラブ、塩川少年野球がスポーツ少年団へ加入。
- 平成20年度 ●第35回日独スポーツ少年団同時交流(体操スポーツ少年団より山岸 有佳さん、工藤璃奈さんが参加)。
●第31回全国スポーツ少年団剣道交流大会(青森県)へ剣道スポーツ少年団より7名の選手が参加
- 平成21年度 ●長野県スポーツ少年団交流大会(硬式野球)を行う。
●第31回全国スポーツ少年団交流大会県大会(軟式野球)を行う。
- 平成22年度 ●スポーツリーダー講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会を上野が丘公民館で行う。
- 平成23年度 ●創設25周年記念事業。
・少年野球教室を行う。講師：元読売ジャイアンツ 篠塚 和典選手、定岡 正二選手。
・姉妹都市スポーツ交流大会。
・スポーツ少年団卒団者による講習会・講演会の開催。
・スポーツ少年団一斉ボランティアの実施。
・スポーツ遊びを通して健全な育成を目的としたちびっこなんでもスポーツ少年団結成。
●東日本大震災義援金活動を行う。スポーツ少年団31団体から70万9,903円集まる。
●長野県スポーツ少年団交流大会(剣道・なぎなた)を行う。
- 平成24年度 ●上田市体育協会、丸子体育協会、真田町体育協会が統合。
●上田市3体育協会統合イベントを開催。
・少年野球教室 講師：元読売ジャイアンツ 緒方耕一選手(丸子体育協会主催)
・少年サッカー教室 講師：元横浜マリノス 遠藤 彰弘選手(真田町体育協会主催)
●長野県スポーツ少年団交流大会(サッカー、卓球、ラグビー)を開催。
●第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会(佐賀県)へ剣道スポーツ少年団より7名の選手が参加。
●ちびっこなんでも、上田W- kid'sがスポーツ少年団へ加入。
- 平成25年度 ●長野県スポーツ少年団交流大会(軟式野球)を行う。

- 平成26年度 ●上田市・南三陸町スポーツ少年団交流会(軟式野球)。
・伊里前ブルーオーシャンズが上田市軟式野球、塩田少年野球教室の合同チームと交流試合。
●長野県スポーツ少年団交流大会(硬式野球)を行う。
●丸子北クラブ、真田少年野球がスポーツ少年団へ加入
●上田W- kid'sスポーツ少年団が脱退。
- 平成27年度 ●上田市・高岡市スポーツ少年団都市間交流会(ソフトテニス)を行う。
・上田市ソフトテニススポーツ少年団が富山県高岡市へ
●長野県スポーツ少年団交流大会(剣道・なぎなた)を行う。
●丸子JBCがスポーツ少年団へ加入。
- 平成28年度 ●創設30周年記念事業。
・スポ少美化清掃活動を実施する。8月21日(日)、上田城跡公園、自然運動公園体育館周辺、真田御屋敷公園周辺
・第29回上田市スポーツ少年団交流大会(30周年記念顕彰を行う)
・みどりの朝風30周年記念号を作成する。(15,000部)
●上田市・南三陸町スポーツ少年団交流会(軟式野球)
・上田市軟式野球、塩田少年野球教室の合同チームで南三陸町を訪問し、交流試合と被災地見学を行う。
●第67回 全国植樹祭 ながの2016 へ参加する。
●上田市・高岡市スポーツ少年団都市間交流会(ソフトテニス)を行う。
・高岡市スポーツ少年団の子ども達が上田市へ。
●長野県スポーツ少年団交流大会(ラグビー)を開催。
●上田市サッカースポーツ少年団が脱退。

団数・指導者・団員推移表

	団数	指導者	団員
昭和61年	1団	5人	28人
平成3年	18団	148人	1,310人
平成8年	20団	199人	1,140人
平成13年	27団	275人	1,592人
平成18年	33団	379人	2,223人
平成23年	42団	509人	2,214人
平成28年	45団	570人	1,930人